



こんにちは
加藤ひろし
です

第64号



私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください「こんにちは加藤ひろしです」で検索!

**中央区議会議員選挙・日本共産党中央区議会議員団
得票数・得票率とも大きく伸ばし全員当選!**

4月27日(月)勝どき駅前交差点で選挙結果について報告する日本共産党中央区議会議員団。
左から加藤ひろし区議会議員・田辺七郎さん・奥村あきこ・志村たかよし・おぐり智恵子区議会議員です。



4月26日投開票された中央区長・区議会議員選挙で、日本共産党の4人全員が当選しました。左記の表のように、区議会議員選挙では、前回と比べて得票数・得票率とも伸ばした会派は、日本共産党だけでした。

日本共産党が、いっせい地方選挙の前半戦(道府県議・政令市議)で60議席増、後半戦(区市町村議)で62議席増と連続前進したことは、安倍自公政権の「暴走政治」と対決する日本共産党への新たな注目や期待のたかまりと受け止めています。これからも公約実現のため、全力を尽くしていきます。

中央区長選挙では、日本共産党は、革新無所属の田辺七郎氏を推薦し、中央区政の転換を図るために、区内のさまざまな民主・平和団体や労働組合などと共同してたたかい、当選にはいたりませんでした。前回と比べて得票を4割近く伸ばすことができました。

中央区議会議員選挙の結果
日本共産党

| | 得票数 | |
|--------|-------|-------|
| | 今回 | 前回 |
| おぐり智恵子 | 1,468 | 990 |
| 志村たかよし | 1,137 | 1,028 |
| 奥村あきこ | 1,555 | 1,138 |
| 加藤ひろし | 965 | 814 |



党派別得票と議席

| | 当選者数 | | 得票数 | | | |
|-----------|------|----|--------|-------|--------|------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 率 | 前回 | 率 |
| 日本共産党 | 4 | 4 | 5,125 | 10.51 | 3,970 | 9.16 |
| 自由民主党 | 12 | 12 | 16,881 | 34.6 | 15,995 | 36.8 |
| 公明党 | 4 | 5 | 5,262 | 10.8 | 6,078 | 14.0 |
| 民主党(維新含む) | 3 | 3 | 3,053 | 6.26 | 3,951 | 9.10 |
| 維新の党 | 2 | | 3,080 | 6.31 | | |
| 諸派・無所属 | 5 | 6 | 15,371 | 31.5 | 13,412 | 30.9 |
| | 30 | 30 | 48,772 | 100 | 43,406 | 100 |

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党中央区議団ニュース

2015年5月上旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570



ストップ！戦争立法

「戦争立法」14日
閣議決定狙う

国民世論と矛盾、米国のあらゆる戦争に“切れ目なく”自衛隊が参戦・軍事支援する「戦争立法」をめぐる情勢が緊迫した局面になっています。「戦争立法」を検討してきた自民、公明両党は11日に与党協議会を開き、この場で政府側が提示する全条文案をもとに直ちに党内了承の手続きに入ろうとしています。これを受けて政府は14日にも「戦争立法」を閣議決定し、国会へ提出する構え。日本共産党は「『戦争立法』反対の一点で共同し、すべての政党・団体・個人が力をあわせて安倍政権のたくらみを打ち破ろう」（志位和夫委員長）とよびかけています。

過去最悪の 憲法9条破壊

閣議決定する「戦争立法」は、
(1)新設する海外派兵恒久法案
(国際平和支援法案) (2)現行の派兵関連法の改定案10本を一括した法案(平和安全法制整備法案)で構成。法案・改定案の名称や目的などに「平和」「安全」の文言をちりばめてい

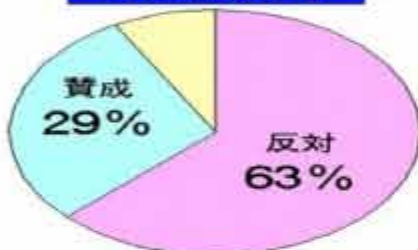
ますが、いつでもどこでも自衛隊の海外派兵と軍事支援を可能にします。歴代政府が国民に説明してきた海外派兵の制約さえ突破する過去最悪の憲法9条破壊の法制です。戦後日本の歩みを根底から覆す重大な法案にもかかわらず、政府・与党は6月24日までの通常国会会期を40日程度延長し、安倍晋三首相が対米誓約した「夏までの成立」を押し切ろうとしています。そのため連日開催できる特別委員会を設置し、18日の週内にも衆院本会議で「戦争立法」の審議入りを狙っています。

国民世論と矛盾

安倍政権の暴走は国民世論との矛盾を広げています。報道各社の世論調査では、「戦争立法」で自衛隊の他国軍に対する軍事支援が広がることで「日本が戦争に巻き込まれるかもしれない」と感じるとの回答が88%（「朝日」2日付）、憲法9条の「改正」には63%が反対。「戦争立法」の今国会の成立には52%が、また憲法の「改正」に半数近くが反対（「日経」4月20日付）しています。

「朝日」5/2付

9条「改正」



「産経」4/28付

憲法「改正」



自公が合意した「戦争立法」の骨格

| | |
|--------|---|
| グレーゾーン | △自衛隊法を改定 平時から米軍・他国軍隊の「武器等防護」を可能に |
| 後方支援 | △周辺事態法を改定 「日本周辺」から地球規模に範囲拡大 「後方地域」なくし戦地派兵 △海外派兵恒久法を新設 いつでも、どこでも米軍の戦争を支援 「非戦闘地域」の枠組みなくし戦地派兵 |
| PKO | △PKO法を改定 「任務遂行」のための武器使用を可能に 国連統括以外の活動にも参加 |
| 集団的自衛権 | △武力攻撃事態法、自衛隊法を改定 「新事態」を明記。集団的自衛権を法制化 「新3要件」に合致すると判断すれば、 地球規模で米軍支援が可能に |
| その他 | △船舶検査法の改定 「日本周辺」の地理的範囲を撤廃 △在外邦人の救出 「受け入れ同意」で武器使用伴う救出可能に △自衛隊法改定 情報収集・警戒監視でも物品提供可能に |

日本共産党は、党の総力をあげて「戦争立法」反対のたたかいを展開します。閣議決定が予定されている14日から17日まで、独自の全国いっせいで街頭宣伝を行います。

★注・このページの図表は「しんぶん赤旗」から転載しました。

ブログもごらんください

こんにちは加藤ひろしです

検索